

授業科目	臨床検査・薬理学	3 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		理学 作業	選択 必修

科目担当責任者	中村眞理子 (保健医療学研究棟 E511 号) e-mail : mnaka@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(菑澤慎也)、(盛合亮介)、(斎藤和)、(藤井博匡)、(久野篤史)、(岩原直敏)		
概要	リハビリテーションの臨床では病態を正確に把握するための臨床検査と各種非破壊画像診断技術は、対象者の治療を行う基盤となる知識であり、本講義ではその基礎について学ぶ。 また、薬物療法はリハビリテーション治療過程において最も考慮すべき要因の一つであり、患者の投薬状況を的確に把握できるように、薬物の性質と薬理作用についても学習する。		
到達目標	1. 通常の臨床検査技術について学び、正常値・異常値が説明できる。 2. 薬の作用様式や生体内動態、代謝について説明できる。 3. 臨床で用いられる代表的な薬の作用について学ぶ。		
関連科目	生理学 1~3、精神医学 1・2、内科学 1・2、化学 1・2		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	筆記試験	100%	
教科書	指定なし		
参考書	①三木直正(監修) [-]「薬理学電子教科書」 https://drugacademy.atlassian.net/wiki/spaces/PHARMACOLOGY/overview		
履修上の留意点	化学や生物学の基礎知識を必要とする学科であるので、生命の化学・生物学を予め履修しておく方が望ましい。 薬理学では講義の後に内容を復習して下さい。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	臨床検査の種類と特性について	事前：学習内容の予習 事後：学習内容の復習	講義	(菑澤)
2	血液、一般、遺伝子、輸血検査について	事前：学習内容の予習 事後：学習内容の復習	〃	(盛合)
3	心電図測定と病態との関連について	事前：学習内容の予習 事後：学習内容の復習	〃	(斎藤)
4	MRI・CT について	事前：学習内容の予習 事後：学習内容の復習	〃	(藤井)
5	薬理学入門	事前：学習内容の予習 事後：学習内容の復習	〃	(久野)
6	循環器の薬理学	事前：学習内容の予習 事後：学習内容の復習	〃	(久野)
7	代謝の薬理学	事前：学習内容の予習 事後：学習内容の復習	〃	(久野)
8	神経系の薬理学	事前：学習内容の予習 事後：学習内容の復習	〃	(岩原)